

第 6 回「海上保安の日」俳句コンテスト各賞発表

海上保安庁は昭和 23 年 5 月の創設以来、永年にわたり広大な海の平和と安全を守り続けています。海上保安庁の創設に際し、初代長官である大久保武雄氏により庁舎屋上に海上保安庁の旗「庁旗」が初めて掲揚されたのが 5 月 12 日でした。この 5 月 12 日が「海上保安の日」と定められており、この日を記念して、大久保武雄氏が俳人（俳号；橙青（とうせい））であったことにちなみ、毎年、「海上保安の日」俳句コンテストを開催しています。

応募部門を一般の部と高校生以下の部の二部門に分け、今回は応募期間を令和 6 年 11 月 20 日（水）～令和 7 年 2 月 20 日（木）までの 3 か月間として募集した結果、一般の部 1,646 句、高校生以下の部 1,697 句、総数 3,343 句の投句がありました。

これを 9 名の選者が選考し、各部門それぞれ、大賞（橙青賞、海上保安庁長官賞、海上保安協会会長賞）、特選、及び佳作の作品が決定されましたので、お知らせします。

< 入賞数 >

- 一般の部
 - 大賞 3 句（橙青賞、海上保安庁長官賞、海上保安協会会長賞の各 1 句）
 - 特選 7 句
 - 佳作 31 句
- 高校生以下の部
 - 大賞 3 句（橙青賞、海上保安庁長官賞、海上保安協会会長賞の各 1 句）
 - 特選 4 句
 - 佳作 28 句

< 選 者 >

岩岡 中正	(公社) 日本伝統俳句協会会長
小島 健	(公社) 俳人協会副会長
中村 和弘	(一社) 現代俳句協会特別顧問
星野 高士	国際俳句協会会長
富士 真奈美	俳人、俳優
夏井 いつき	俳人
岸 ユキ	海上保安友の会理事、俳優
稲畑 廣太郎	(公財) 海上保安協会評議員、(公社) 日本伝統俳句協会副会長
佐藤 雄二	元海上保安庁長官

※順不同

《 大 賞 》

○ 橙青賞（初代海上保安庁長官 大久保武雄 俳号）

白南風やしかと水脈引く巡視船 大阪 中尾 謙三

選評（岩岡 中正）

梅雨明けのころに吹く明るい白南風の中、青々とした夏の海を力強く真白な水脈を引いて走る巡視船。その姿を絵のように美しく頼もしく描いた一句である。

選評（富士 真奈美）

この一句で全部を言い現している立派な句。しらはえ、は梅雨明け近く雨雲を吹き払ってくれる南風。上々のお天気。さあ、出航です。水脈を引いて、たくさんの人に見送られ、悠々と行く巡視船。海の保安をお願いし、御無事を祈ります。

選（星野 高士）

○ 海上保安庁長官賞

海保の日海の深さを知る海図 埼玉 大紀 直家

選評（星野 高士）

初夏の日ざしの海保の日、作者が眺めているのは海、ではなく「海図」である。資料館だろうか。それとも巡視船の操舵室を見学したのだろうか。そこには穏やかな青い海の表面に隠された、等深線に色分けされた海底の起伏が別世界のように広がっていることに作者は気づいたのだ。この句は、視線が新鮮だ。そして夢がある。

選（佐藤 雄二）

○ 海上保安協会会長賞

大海へ繋ぐメモリー海保の日 兵庫 四元 義朗

選評（岸 ユキ）

楽しかった思い出、そうでなかったつらい記憶、様々なメモリーを大海へ繋いで行くという発想がすばらしいと思いました。

選（中村 和弘）

《 特 選 》 7 句（各選者の特選句等：順不同）

① 特選

光年の星海にあり海保の日 山形 安達 喜代美

選評（中村 和弘）

海上で見上げる星空、ひとつひとつの星が大きく荒々しく美しい。その光は光年と言う
気の遠くなるような時間をかけ地球にとどく。〈光年の星〉と表現した作者の表現力が美事。
詩情をたたえたスケールの大きい作品である。

② 特選

斉唱「はばたき」海保の日の海へ 愛媛 井上 さち

選評（夏井 いつき）

海上保安庁の愛唱歌として大切にされてきた楽曲「はばたき」。その明るく心温まるよ
うなメロディが、音楽隊の力強い伴奏と共に朗々と響いてゆく様が目に見えるようです。
「ああわれら海の子／見せられた海へささげる／ささやかなささやかなはばたき」何度も
繰り返される歌詞そのままに、斉唱の声も「海保の日」の海へとはばたいていきます。

③ 特選

わだつみの鼓動は止まず海保の日 京都 菅沼 健太

選評（稲畑 廣太郎）

周囲を海に囲まれた日本での海を守る仕事は簡単なことではない。そんな中長年海の安
全をひたすら守ってきた海上保安庁の仕事を改めて「海保の日」は思い出す日でもあるだ
ろう。そしてその苦労は海を司る「海神」にも伝わり一緒になってその仕事を讃えている
のである。スケールの大きな句になっている。

④ 特選

魚図鑑親子で楽しむ海保の日 大阪 住吉 美和子

選評（小島 健）

一見、緊張もするような海保の日に対する平和・平穏な和やかな光景に心が緩みます。
魚図鑑、親子、楽しむ、などの大らかな用語が嬉しい家庭的な温かい作品。まずは家族に乾杯！
中七は字余り？ 父子の表現もありますが、まあ、細かいことは言わない！ 海保がある
からの平和という趣意も感得できます。

⑤ 特選

開かれた海に法あり海保の日 大阪 濱田 昭

選評（佐藤 雄二）

船舶が自由に航行できる海であるが、ルールがあるのも事実だ。国際法では国連海洋法条約がその代表であり、国内にも様々な法令がある。この句は、自由で開かれた海ではあるが、法の番人である海保により海の平和と秩序と安全が保たれていることを暗に示している。下句の海保の日が句全体に効いている。

⑥ 特選

海保の日父子二代の機関長 大分 小野 千代美

選（岩岡 中正、夏井 いつき、岸 ユキ）

⑦ 特選

海保の日港喫茶のナポリタン 宮崎 近藤 國法

選（小島 健、富士 眞奈美、岸 ユキ）

《 佳 作 》 31 句

玫瑰や灯台守りの鎮魂歌	北海道	赤繁 大河
奥能登へ給水支援海保の日	埼玉	小田 和夫
食堂の麦茶なみなみ海保の日	埼玉	奈良 勇希弥
背に足に領土領海海保の日	山梨	薬袋 太一
芭蕉子規虚子の海山海保の日	京都	吉倉 紳一
北斎の浪にも負けぬ海保の日	東京	内村 佳保
海保の日国境守る水脈白し	滋賀	近江 堇花
青藍の衣（きぬ）に浮く塩海保の日	福島	川井 祐宜
訓練のオールを立てて海保の日	愛媛	菅 恵里子
僚船の頼もしきかな海保の日	千葉	菊池 克己

制服の襟の影美し海保の日	神奈川	小島 奈未
島を縫ひはためく日の丸海保の日	神奈川	小林 和幸
いにしえのわれは海の子海保の日	埼玉	今野 重忠
海保の日イルカの跳ねる清水港	静岡	いたまき 苺
シーレーンなぞる地球儀海保の日	静岡	高山 佳己
孫かぶる祖父の制帽海保の日	宮城	竹市 卓矢
この国の無数の島や海保の日	神奈川	竹澤 聡
海渡るアサギマダラや海保の日	兵庫	田村 満生
海は父港は母や海保の日	熊本	槻木 俊彦
並走す飛行機雲や海保の日	長崎	戸村 文夫
航跡は真つ直ぐ太し海保の日	東京	白猫のあくび
それぞれの髪をなびかせ海保の日	愛媛	中矢 尚
海保の日海岸線は一万里	東京	野上 卓
海守る若人（わこうど）集う海保の日	兵庫	野崎 精子
群青の潮目膨らむ海保の日	神奈川	原田 博之
海保の日富士を拝みて出航す	三重	廣岡 梅生
離岸流子に教えたり海保の日	東京	不破 敏博
潜水士の硬き筋肉海保の日	東京	細原 望
魚には見えぬ国境海保の日	千葉	矢野 隆男
海原は蒼き宇宙や海保の日	愛知	山田 由美子
舳ひ綱に海鳥並ぶ海保の日	東京	若林 誠二

◇ 高校生以下の部 ◇

《 大 賞 》

○ 橙青賞（初代海上保安庁長官 大久保武雄 俳号）

コンパスがさすのは未来海保の日 愛媛 若狭 早

選評（中村 和弘）

コンパス（羅針盤）は、船舶や航空機の針路を定め方位を測定するための計測機。目的地までの安全を確保することを含む。それはこれより先のこと、大きく言えば未来に向けての安全である。海保の日にまことにふさわしい。この句のキーワードは〈未来〉、この一語あってこそ的一句。

選評（星野 高士）

大航海時代より船の行く先を確と指し示してきたコンパス、羅針盤。晴れの日も嵐の日も、大きな役割を果たしてきた。さて、今日は海保の日。行事のため港に停泊する巡視船もあるだろう。そのコンパスが指しているのは「未来」だと作者は言うのだ。大きな希望の見える句である。

選評（佐藤 雄二）

通常、コンパスが指すのは方位だが、この句は未来を指すという。一体どんな未来を指すのだろうか。下句に海保の日を置いたことにより、海保が目指す平和で安全な、そして美しい海を目指すのではないだろうか。コンパスが指すのは未来という若者らしい表現が良い。

選（富士 眞奈美、岸 ユキ、稲畑 廣太郎）

○ 海上保安庁長官賞

島国の夏のはじまり海保の日	東京	千葉	琉生
---------------	----	----	----

選評（富士 眞奈美）

日本は四季折々、素晴らしい自然に恵まれた美しい島国です。島国の夏のはじまり、と詠んだ文字に、既に美しさが感じられる句。この島国がずっとずっと平和、平穏でありますように。という願いが込められています。

選（中村 和弘、稲畑 廣太郎）

○ 海上保安協会会長賞

海保の日魚はしづかに眠りたる	愛媛	古角	涼真
----------------	----	----	----

選評（岩岡 中正）

「しづかに眠」る魚を通して、海の平和と安全への願いを表現した、思いの深い一句であって、完成度が高い。

選（中村 和弘、夏井 いつき）

《 特 選 》 4 句（各選者の特選句等：順不同）

① 特選

海保の日ふっくら浮かぶ入道雲 群馬 橋場 梨奈

選評（岸 ユキ）

入道雲は雷やはげしい雨を降らせることがあります。ふっくらという言葉がとてもやさしくほんわかとしていて、とてもすばらしい風景が目の前に広がるのです。

選（星野 高士）

② 特選

海保の日子の手を強く握りしめる 徳島 前田 妃織

選評（夏井 いつき）

海保の日のイベントに参加しているのでしょう。子供の手を強く握りしめた親子連れを眺めつつ、親に手を握られた子供時代の安心感を思い出しているのかもしれませんが。その大きな手に、海の警察として海上の安全や治安を守り、海難救助・海の交通安全や環境保全などを行う海上保安官たちの力強い「手」が重なっていくように感じる海保の日です。

選（岸 ユキ）

③ 特選

そこにある国境守る海保の日 福岡 山崎 大司

選評（稲畑 廣太郎）

大陸などにある国境は陸地にありすぐに行き来ができますが、日本などの島国は陸地に国境線がなく、海の上にあり、その国境を守るためにはどうしても海上を見張らなければなりません。そのために海上保安庁は大切なのです。海の上にある国境をさりげなく表現してとても良い句になりました。

選（星野 高士）

④ 特選

海保の日魚が歌う青い海 鹿児島 園原 凜桜菜

選評（小島 健）

おお、何という幻想的な詩情でしょう！まるで、魚が青い海をきれいな声で讃えて歌うような作品です。ファンタスティックなディズニー動画を見ているような錯覚に陥ります。海保の日の既成概念を打ち破った新鮮な作品に、大きな拍手！ ウーン、こんな形の海保の日の詠み方があったとはねえ！

《 佳作 》 28 句

海保の日足の爪まで透ける波	鳥取	岩田 侃大
海保の日海からもらった塩をふる	福岡	祝 あすな
海保の日親の眼鏡を拭いてみる	北海道	菅原 幸倫
海保の日夕陽を跨ぐ島の橋	山口	福田 伊織
掌に青きペンキや海保の日	愛媛	山本 恭児
静けさや朝日が昇る海保の日	熊本	米村 榎梨奈
群青の風の煌めき海保の日	京都	和賀 泉咲
水の上頑張る背中海保の日	熊本	天川 陽登
風なびく瑠璃色の海海保の日	熊本	井上 莉瑠
この海は世界の姿さ海保の日	熊本	植村 翔輝
青春や海をかけてく海保の日	愛知	内山 芽泉
一礼するホルン海上保安の日	埼玉	大室 史華
海守る強い眼差し海保の日	熊本	加藤 晴樹
まもりたいうみのいきものかいほのひ	佐賀	嘉村 美桜
歌声が風と合唱海保の日	石川	河合 宏昭
金曜の夜カレーが教える海保の日	静岡	小山 莉央
海保の日海難ゼロを波にのせ	福島	榊原 理音
海保の日夕日が見える水平線	熊本	猿渡 啓仁
灯台も海の番人海保の日	神奈川	塩見 耶摩斗
青い海白い灯台海保の日	愛知	志賀 優龍
おだやかに波うちよせる海保の日	鹿児島	清水 咲羽
潮風に青を感じる海保の日	徳島	庄嶋 晴
水面が光る宝石海保の日	新潟	菅原 椎愛
かいほのひかがやくうみにピッケいれい	群馬	田中 みもぎ
憂いさへ忘るる安堵海保の日	山梨	田邊 大地
海に幸人に幸あれ海保の日	千葉	友杉 早絵
大和坂(やまとざか)西へ南へ海保の日	熊本	藤本 凪
ウミネコと青い大空海保の日	熊本	村川 彩聖

【お問合せ先】

公益財団法人海上保安協会「海上保安の日」俳句コンテスト係

〒104-0033 東京都中央区新川 1-26-9 新川イワデビル 7F

TEL : 03-3297-7589 FAX : 03-3297-7590